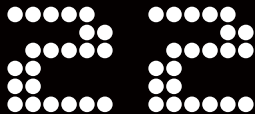




# LONGIN

*We create in Tokyo Japan since 2011*

WEB MAGAZINE Vol.



バチ  
抜け  
超特化!



# PLEX 水面直下

sinking type jointed lipless for salt water

85mm 7.5g 1,600円+税

水面超特化! バチや偏食するシーバスを魅了する表層モデル!

水面直下に特化したこのモデルは「バチ抜け」を強く狙い、ウェイト位置を調整して7.5gという重さにする事でスローシンキング&浮き上がり速く設定、流れがあるポイントではラインを張りながらラインスラッグを取るだけで流れに身を任せ、水中をサスベンドさせて漂わせるだけで獲物な法でシーバスを魅了します。流れが早いエリアでは側テッドスローリールとロッドチップの上げ下げで水面直下から約30cmを自由自在にコントロールできます。ハイレッシュなポイントで泳いだシーバスや、肉食(小サケ、バチ、アミ、シラスなど)してルアーに見向きもしないシーバスなどに、威力を発揮。リングで連結されたボディが水流の変化に反応して上下左右、捻りなど、自由自在に動くことで、複雑なトリッキー運動を生み出します。

NEW



# 魅惑の

磯マルとは「磯で釣るマルスズキ」のこと。地域によって誤差はあるが、東京湾では10月末あたりから徐々に産卵を控えた魚の南下が始まり、11月中旬にもなると磯マルの本格シーズに突入する。そんな磯マルの魅力は何と言ってもコンディション抜群の魚が連発することだ。

Text by 対馬世人

# 磯マルゲームへの挑戦



# シーバスアングラーにとって、 冬の風物詩ともなった磯マルゲーム



湾奥アングラーからは敷居が高い釣りだと思われがちなの釣りだが、しっかりとした装備を整えさえすれば、あとは的確な狙いとアプローチによって安定的に魚を出すことが出来るのもこの釣りならでは。ここではレビンとキックビートを用いた磯マルゲームについて解説するので、天候次第で様々な顔を見せる磯というフィールドで、夢のある一匹を目指してもらいたい。

## 【磯マルのシーズンとポイント】

基本的に一年中狙えるが、産卵絡みのシーバスが混じる11月中旬～1月中旬が最も手軽かつ、アングラーを熱くさせるハイシーズン。

## 【磯マルの捕食ポイントとは】

フィールドを問わず、マルスズキを釣る上で「流れ」というのはとても重要なファクターだ。他のフィールドと比較して圧倒的に広大かつ、海底の地形変化に富んだポイントが無数に存在する磯では、必然的に「魚にとっても着き場を決める際の選択肢が多い」ということになるので、より重要度が増すファクターであると考えている。

磯は「潮位と干満」だけでなく、「風向き・波向き・波高・地形」によっても流れの出方が大きく異なるので、海況を問わずに現場へ通いこみ、ポイントごとの理想的な状況を把握する必要もある。

産卵に絡んだ個体は「いかに効率よく、捕食できるか」ということを強く意識して捕食活動を行っているので、いかに「アングラーが魚の気持ちを推察してポイント選定を出来るか！」が釣果への近道とも言えるだろう。

#### 【外洋と港湾・河川の絶対的な違い】

外洋と港湾・河川の絶対的な違いとして、「波の発生」という点が挙げられる。波の発生には「低気圧」「風」「地形」の3点が密接に関わってくるが、風の影響をダイレクトに受ける磯では、この波をどう利用し、どう付き合っていくかが釣果に大きく影響する。

釣行前に気圧配置・風向き・風速・潮位を確認し、海況に適したポイント選択を心掛けよう。

#### ■海況別アプローチ

##### 【風は沖の潮目撃ち】



例外はあるが、基本的に海面が非常に穏やかな風日は、磯際に流れが発生しづらくなってしまいうため、沖の流れを回遊してくる個体を狙った「潮目撃ち」が非常に有効だ。

潮目とは流速や水温・水質など、異なる潮がぶつかりあってできる潮の境目で、流れの最終地点のようなところのことをいう。海底の栄養素が持ちあげられるためにプランクトンが豊富なため、ベイトとなる小魚が集まり、必然的にシーバスの回遊が期待できる好ポイントとなる。

そんな沖の潮目を撃つ上で、ルアーへ求められる性能として挙げられるのが「飛距離・ナチュラルアクション・レンジキープ力」だ。

沖を走る潮目にしっかり届き、ランカーサイズに見切られないだけでなく、ナチュラルなアクション、活性の高くない個体にも口を使わせてしまう弱々しい波動、そして強い流れの中でも浮き上がらないレンジキープ力。この要素を併せ持っているのがレビン 20g、レビンヘビー 28g だ。

潮目までの距離や風の状況によって2種類を使い分け、コンディション抜群の磯マルキャッチを量産してみてはいかがだろうか。

**【時化日はストラクチャに絡む3点がキーになる】**

海面が波立ち、磯際にサラシが出る時化日は魚の活性が上がるため磯マル量産の大チャンス！

## 【風日のアプローチ方法】

風日のアプローチ方法は、以下の3つをしっかりと覚えておきたい。

①ルアーの重量をしっかりとロッドにのせてフルキャスト。

⇒風を背負える立ち位置の確保も重要なポイント。1メートルでも遠くに飛ばせれば更に確率が広がるので、飛距離を出す練習を。

②着水後は流れを感じる(リトリブが重くなる)エリアをデッドスローでリトリブ。

⇒流れの強弱によってリトリブスピードは微妙に変わってくるので一概には言えないが、ルアーを暴れさせるのではなく、流れの中をユラユラと漂わせるイメージでリトリブすればOK。

③遠距離戦でラインスラッグが出ているので、HIT後はしっかりとフッキングを入れる。

⇒フッキングが決まっていなかったら、スラッグ回収後に強烈な追いアワセを入れる。

## 【時化日のアプローチ方法】

凧日よりさらに釣りがシビアになるのが時化日。以下の3つのポイントをしっかり考慮して臨もう。

①風に負けないよう、低弾道のライナーキャストを心がける。

②着水後は水深にあわせてフォールさせ、風と波の力を利用してボトム付近をスローに流す。

⇒前述の通り、ミドルレンジから下に神経を集中させ、海底の根周りを可能な限りスローに通す。

③水面の動きが激しいので、HIT後はしっかりとフッキングを入れ、一気に勝負を決める。

アプローチ方法については、現場へ行く前に、一度イメージトレーニングをしてみるといいだろう。

波のブレイクに合わせていたるところで強烈な流れが発生するほか、風や波の影響でベイトも接岸しやすいので、おのずと本命との距離も近くなる。デイゲームで本数を出せるのも特徴的だ。

アプローチも「沖の回遊待ち」だった凧日とは異なり、サラシが絡んだシモリ際や、足元際などのストラクチャー狙いがメインとなる。時化日のキーとなるのは「サラシ・流れ・根」の3点だ。

マルズズキはヒラスズキほどストラクチャーへの依存性は高くないが、根周りで捕食チャンスを伺っているなので、上記の3点を意識して立ち回る事が釣果への近道となる。

続いて使用するルアーだが、多少の波であればレビンヘビーやミ

ノープラグを主体とした釣りがメインとなるのでそれ程苦勞もしない。問題は、向かい風を10メートル以上受けてルアーの飛距離が出ないときや、波高が高く、ミノープラグのレンジでは魚が捕食できないような状況下だ。

こういったヘビーシンキ



ングペンシルやミノープラグでは対応しきれない状況下でこそ、より輝きを放つのがキックビートシリーズである。風速・流速・波高・水深によって15gと20gの使い分けは必要になるものの、使い方はいたって簡単。水の動きが激しいミドルレンジから上は無視し、海底の根に近いレンジを可能な限りスローに流すだけだ。

魚も捕食しづらい状況であることを考慮し、可能な限り「スロー」にアプローチすることが最重要ポイントになる。私自身、今シーズンの磯マル釣行は時化日にあたるが多かったが、毎回キックビートに救われてきた。飛距離だけでなく、アングラーを気持ちよくさせるほどの波動と水抜けの良さが成せる技なのであろう。

「どうしようもない状況こそキックビート！」

この言葉は、僕が磯マルをやる上で常に頭の中にある大切なワードである。



凪日、時化日のアプローチ方法で押さえておきたい点や、カラーローテーション、フックセッティング、装備については別項目で記載したので、そちらを参考にして欲しい。

### 【最後に】

海況によってフィールドの状況が一変する磯は、現場での観察能力と瞬時の適応能力が非常に重要となる場所だ。個人的には、釣り本来の楽しさとフィールドアスレチック的な



アウトドア・スポーツとしての楽しさを MIX させた究極の釣りだと思っている。

寒さに耐えながらも、頑張った先にはコンディション抜群のメモリアルフィッシュが待っていることを信じて、是非レビンとキックビートの使い分けで思い出に残る魚を捕獲して欲しい。

## 【カラーローテーション】

### ■ 曜日

曜日はカラー選択が非常に重要となってくるので、固定概念に捉われずローテーションすることが重要。

**月夜**：光量に合わせ、パール系・メッキ系・チャート系・クリア系（自作）をローテーション。

**暗夜**：チャートバックパールやレッドヘッドの様なパール系をメインにローテーション。来シーズンに向けて密かにテストしているグロー系のカラーは絶好調！ 発売は未定だが……。

### ■ 時化日

一方で時化日は魚にルアーの存在を気付かせることを意識してカラー選択。

**ナイト**：チャートバックパール・レッドヘッド

**マヅメ**：アピール系⇒レンズキャンディ⇒ナチュラル系  
⇒光量の変化に合わせて細かくローテーション

**デイ**：ナチュラル系をメインに、サラシの状況次第でアピール系を投入。

## 【装備について】

磯は少しの油断や判断ミスによって、大ケガをする可能性があるフィールドであることは言うまでもない。ライフジャケットの着用は当然の事、ウェットスーツやウェーダー、キャップ・グローブ・スパイクといった安全装備を整える事は釣人のマナーとして徹底する必要がある。

そしてもうひとつ重要なのが「人によって運動能力と体力が違うということ」を理解することだ。人と比べるのではなく、自分自身の判断で「安全だ！」という確信を持った上でエントリーすること。

## 【フックセッティング】

磯では強引なファイトや抜き上げが必要な場合も多く、純正フックだと心細いのでフックサイズを大幅に上げて使用している。

### ■ レビン

磯マル、ヒラスズキともに「がまかつ SPMH #3」を使用。個人的に、磯では動きを抑えて使いたいので、むしろこのサイズがベストだ。

### ■ キックビート

磯マル、ヒラスズキともに「がまかつ SPMH #5」を使用。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

# ロンジンマガジン Vol.5

弊社製品取扱店にて好評配布中!



秋の特別発行となったロンジンマガジンは今号で第5号! (特別発行号なので、前号よりは本の厚みが薄めです)

新製品レビンライトの巻頭解説記事に加え、秋のハイシーズン前に読みたいバイブレーションの使い方記事2本、魚の居場所を探りながら釣るための基礎知識記事を収録した保存版!

本は薄くなったけど中身はアツい今号も、もちろん無料配布! 弊社ルアー取扱店全店に順次発送していますので、店頭が無かった場合は店員さんに聞いてみて下さい! (弊社在庫があれば、お店へ送らせていただきます)。

ロンジンマガジンのご意見・ご感想もお待ちしております (HP アンケートよりお送り下さい)。

## ロンジンマガジン Vol.5

配布価格: ¥0 (フリーペーパー)

版型: A5 版 24 ページオールカラー

発行: 株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中  
(数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい)



**LONGIN**

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

# WEB MAGAZINE Vol.22

発行日：2015年12月11日

株式会社 LONGIN.